



SIDE [側面]



FRONT [前面]



REAR UP [背面拡大]

トランジェントガンダムグレイシャーの前、側、背面、機体シルエット自体はオリジナルとそう変わっていないが、ダークブルーへと変更されたカラーリング、各部に増設されたクリアパーツが本機の攻撃性を大幅に高めている。太陽甲を搭載したコンク状の背骨ユニットも健在。リアフスキー電子コントロールに集れるもの、その制御には操縦するガンブラファイターの能力が大きく問われるものも変わりはない。



REAR [背面]



【トランジェントガンダムグレイシャー】

制作文 / アドウ・サガ

第13回全日本ガンプラバトル選手権中高生の部、その全国大会の決勝戦でトライ・ファイターズと激闘を繰り広げたガンプラ学園のソレスタルスフィア。中でも印象的だったキシマ氏のトランジェントガンダムが……純白ではない!? 彼をライバル視するビルダーによって生まれたこのグレイシャーを、今回はキシマ氏と同じチームメンバーのアドウ・サガ氏が徹底的に再現製作、そして圧倒的に批評する!!

氷河のエル・バレンシア  
1/144 SCALE PLASTIC KIT "HIGH GRADE" (SEARCH)\* MODELED BY SAGA ADOW  
TRANSIENT GUNDAM  
GLACIER



# 氷河のランジェント TRANSCIENT GUNDAM GLACIER

Base  
 [ベース機]



グレイシャーのオリジナルとなったトランジェントガンダムは、キジマ・ウィルフリッド氏のガンプラだ。「機動戦士ガンダム00」に登場する太陽炉搭載機の系譜機体であり、第13回全日本ガンプラバトル選手権中高生の部での活躍は記憶に新しい。



■**01** 機体名のグレイシャーは「氷河」の意味を持ち、その名の通り冷気系の能力に特化したチューニングが施されている。本来の制作者はガンプラ学園の2年生。アナガオオジリンジ氏。キジマ氏に対して強いライバル心を抱く海外からの留学生だ。今回その噂を聞きつけた編集部が、同氏の伝説の先輩とも言えるアツツ氏に再現製作と批評を依頼した。

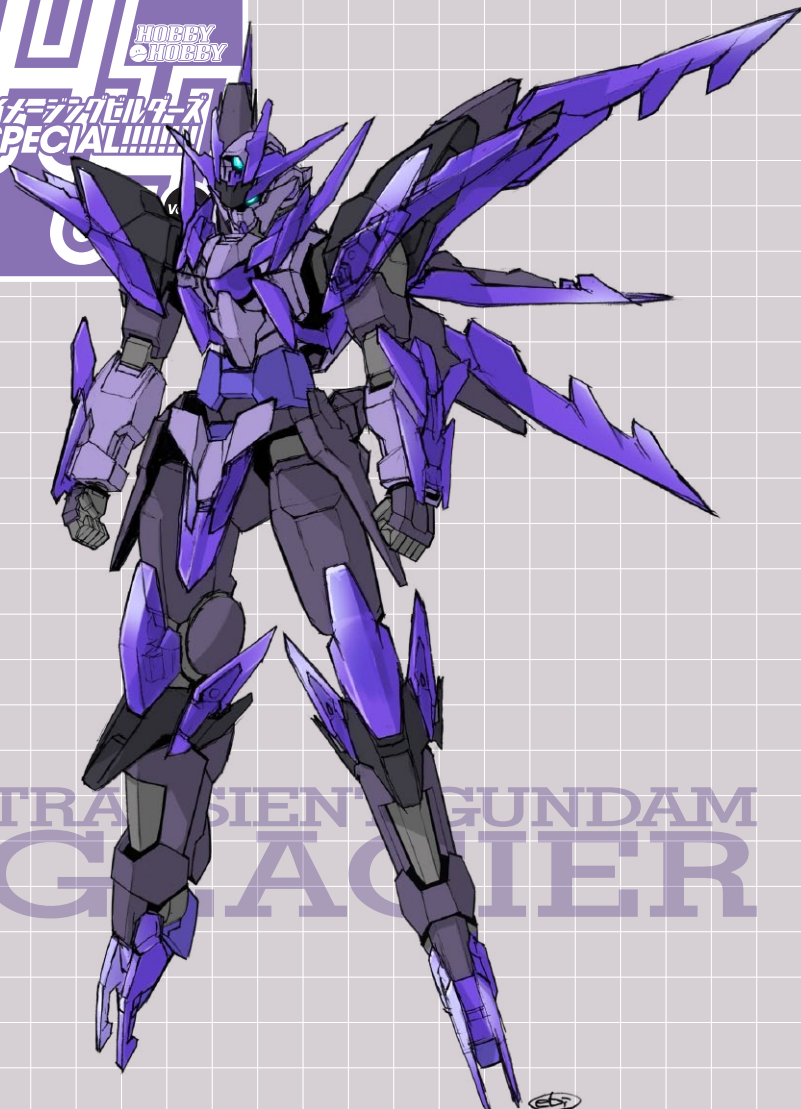
■**02** メイン武装はGNバルチザンII。格闘武装として使えるのももちろんだが、射撃モーション時に圧縮させた粒子を飛ばすことによる遠距離攻撃も行える。前腕の先端に内蔵されたGN/バルカンでは、銃口部分から凍結効果を持ったビーム刃を発生させることも可能である。



■**03** 各部のクリアパーツはクリスタルと呼ばれ、コーン状の背面ユニットから発生したプラスミオン粒子を貯蔵する機能を持ち、瞬間的に莫大な粒子放出を可能とする。また、蓄えられた粒子はマイナス側のエネルギーへ変容され、バトルフィールド上において「絶対零度」に近い超低温状態を保ち、グレイシャーが冷気系の技を使用する際の源となっている。

■**04** フロントアーマーの形状がオリジナルから変更され、可動性が向上。メイン武装の刀身部分にも使用される程にクリスタルの硬度は高く、脚部のつま先に配置されたクリスタルは蹴撃技へ切断効果を与える。





TRANSIENT GUNDAM  
GLACIER

## トランジェントガンダムグレイシャー 設定画公開!!

Illustration by Kanetake Ebikawa



1 本機のダークカラーリングながらアドウ氏に依頼したわけではないが、氏は意外な情報を教えてくれた。「別に好き好んでダークカラーに塗ってるわけじゃねえ。俺のジエンスも元々は他のメンバーと同じ、白い機体色だったんだよ。あの頃はヒマさえあればバトルしていたからな。撃破した相手の爆発を機体がごんどん爆けちまってる……面倒だからあの色に塗り直しただけだ……」流石っ!

2 旧トランジェントをオリジナルとするなら、グレイシャーにもトランジェントパーツが搭載されているもおおかくほはないはずだが……再製されたアドウ氏から、その真相もさっさと……「可愛い後輩の敵へ道を送るような真似、この種がすると思ってるのか?」……す、まいせんしたっ!

あどろだが……近況(町で3年ぶりに偶然見かけた知り合いに声をかけたんだが、向こうは驚いた顔をしながら走って逃げて行きやがった。もちろん追っかけて捕まえたんだが、すっかり見た目が変わったから交付できなかったらしい。自分ではわからないが……そういうものなの?



トランジェントガンダムグレイシャー  
製作スタッフの方

最初は他人のガンダムを真似して作るなんて冗談じゃなかったが、それがトランジェントをベースにしたと聞けば事情も変わってくる。トランジェントガンダムグレイシャー……ウチ後輩が一方ではキジマを、イバル視してこいつを作ったらしいが……そりゃ、羨望うまでいいぜ。

ます、イバルと聞いたなら自らのガンダムに乗っかるんじゃない。自分の相棒をライバル自身のアイデアから頂戴するなんて愚の骨頂だ。そんなには俺が自らや、たのらフロワーでしかない。後出ジャンプで当時のトランジェントを改良したところで、キジマはどんなところから先進んでいる。すでに選ばれてることだ。最初から追いつきもしてないんだよ。

……まあ、これもガンダム学園の可愛い後輩への叱咤激励ってことで動弁してくれ。このグレイシャーは、トランジェントを研究しているだけであつて流石にいい出来だ。た、パワーを冷気系の能力に特化しているのも素直に評価するぜ。攻め手は多いに越したことはないが、属性がふれると最終的な威力もふれるからな。こいつは面白いバトルが出来そうだ。

もはやイバルには認識だが、ガンダムには作った人間の考えが入ってる。トランジェントを元にしたグレイシャーなら、キジマとその後輩の考えが何々に込められていくそうなんだが……今回再現製作をしてみても、選手権の懐かしさを再現したものは、肝心の後輩の想いやらは全く見えなかった。

後輩が考え無しで作ってたって言いたいわけじゃない。逆だ。カンナビルター、キジマウィルフルドの考えを邪魔せずともたろ上塗りしないようによく考えられた手の加え方だったんだよ。キジマより才能があるなんて喉嚨を切りながら、結局のところあいつを一番尊重しているのは後輩自身じゃねえのか?

これに関しちゃ、ただの思い過ぎしかもしれない。グレイシャーを考えた本人に話を聞いてみないとには真意を確かめようもないが、俺には関係の……それこそ興味も無い話だ。ただ、他人のそういう方を否定はしねえよ。無理に背伸びする必要はねえ。自分より強いやつには、素直に憧れておくんだな。